



外国にますます興味があった ニュージーランド異文化相互交流

市教育委員会では、異文化に触れることで国際的視野を持った次世代の育成を目的に、ニュージーランドの中学生との相互交流事業を実施しています。

今年も、2回の選考会を経て選ばれた中学1、3年生15人を8月19日、同26日まで、「市少年少



お互いの文化を披露して交流を深めた生徒たち

女海外派遣研修使節団」としてニュージーランドのオークランド市へ派遣しました。6回の事前研修で、日本や宗像の歴史・文化の学習や、ニュージーランドの交流校であるマウン・ト・ロスキル・インターメディアット校での披露に向けて、ソーラン節の群舞や合唱、空手や剣道、書道、ダンスなどの練習をした団員たち。ホームステイや学校交流を中心とした海外研修では、現地のホストファミリーや生徒の優しい手助けもあり、言葉や文化は違っても、自然と交流の輪が広がりました。9月11日に開催した事後研修報告会では、団員から、日本と外国の文化や自然、習慣の違いなど

テーマに沿って本を紹介「ブックトーク」

本年度の学校図書司書夏期研修会で、ブックトークの研修を実施しました。ブックトークとは、ある一つのテーマに沿って数冊の本を順序よく紹介することで、読書案内の一つです。子どもたちが今まで知らなかつたおもしろい本を、学校図書司書からいろいろな切り口で紹介されることで、子どもたちの新しい本との出会いや興味、可能性を広げることができ、読書案内の一つです。今回は、朝の読書や図書の時間に10分間でできる



オークランド市内を訪れた使節団

への驚きや感動、ますます外国に興味をわき今後的人生設計に役立てたいなど、力強い報告がされました。

ニュージーランドから20人が宗像市へ

マウン・ト・ロスキル・インターメディアット校の中学生17人と指導員3人が9月23日、同27日まで、市を訪問しました。ホストファミリーと対面した後、市食生活改善推進会が調理した宗像の郷土料理と一緒に味わった同校の生徒たち。日本

るミニブックトークに取り組みました。学校図書司書全員が、シナリオを作成して発表し、講評し合いました。今後、子どもと本をつなぐため、また、子どもの「何かおもしろい本ない？」に答えるため、活動してまいります。

■問い合わせ先 図書課学校図書係 ☎(34) 2264 赤間小でのブックトーク実践の様子



赤間小でのブックトーク実践の様子

外国の文化に親しんで 気軽に英語の絵本を 利用してください

市民活動交流館（メイトム宗像）内「えほんのへや」の国際交流コーナーでは、英語の絵本100冊の貸し出しを実施しています。今年2月に、在福岡アメリカ領事館から市へ約200冊の英語の絵本が寄贈されました。市教育委員会では、えほんのへやの蔵書として100冊を登録、約100冊を小・中学校の英語教材として活用する予定です。



国際交流コーナーの英語の絵本

子どもたちにも大好評！ 地元産のアジが小学校の給食に登場

鐘崎漁港で水揚げされたアジが「アジの甘酢あんかけ」として9月24日、南郷小学校の給食に登場しました。子どもたちに、家庭で食べる機会が減りつつある骨付きの魚を食べる体験をしておうと企画した今回の給食。1年生と2年生には開きにしたアジを、3年生以上には頭と内臓、ウロコを除いた骨付きのアジを、それぞれ丸ごと揚げて、ニンジンやタマネギなどの野菜を使った甘酢あんかけにしました。食べる前に、鐘崎漁協の職員から「アジ」について話をもらった子どもたち。興味津々に聴き入っていました。



アジを使った給食メニュー

市教育委員会では、魚食普及を目的に、地元漁協（鐘崎漁協、宗像漁協）や道の駅むなかたと提携し、玄界灘で捕れた新鮮な魚介類を学校給食で使用する取り組みを実施。これまでも、アカモク



おいしそうにアジを食べる児童ら

■問い合わせ先 学校管理課 ☎(36) 1322

遊ぶことが楽しくなる 小学校遊具の塗装を新調しました



きれいになった河東小学校の混成遊具

「福岡県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」を活用して、市内7小学校の遊具48基の塗装を新調しました。きれいになった学校の遊具で、子どもたちが楽しそうに遊んでいます。

■問い合わせ先 学校管理課 ☎(36) 1322

■問い合わせ先 市民図書館 ☎(37) 1321

宗像ユリックス図書館の児童書コーナーにも英語の絵本が入りました。みなさんに気軽に英語や外国の文化に親しんでもらうため、日本でも出版されている有名な絵本を中心に、200冊（9月末現在）の英語の絵本を用意しました。もちろん、貸し出しもできます。平成23年度末までには、